

特定サービス産業動態統計調査7月分の結果について

経済産業省が実施する特定サービス産業の統計調査を基に、新型コロナウイルス感染症が学習塾にどの程度の影響を及ぼしているかについてまとめました。

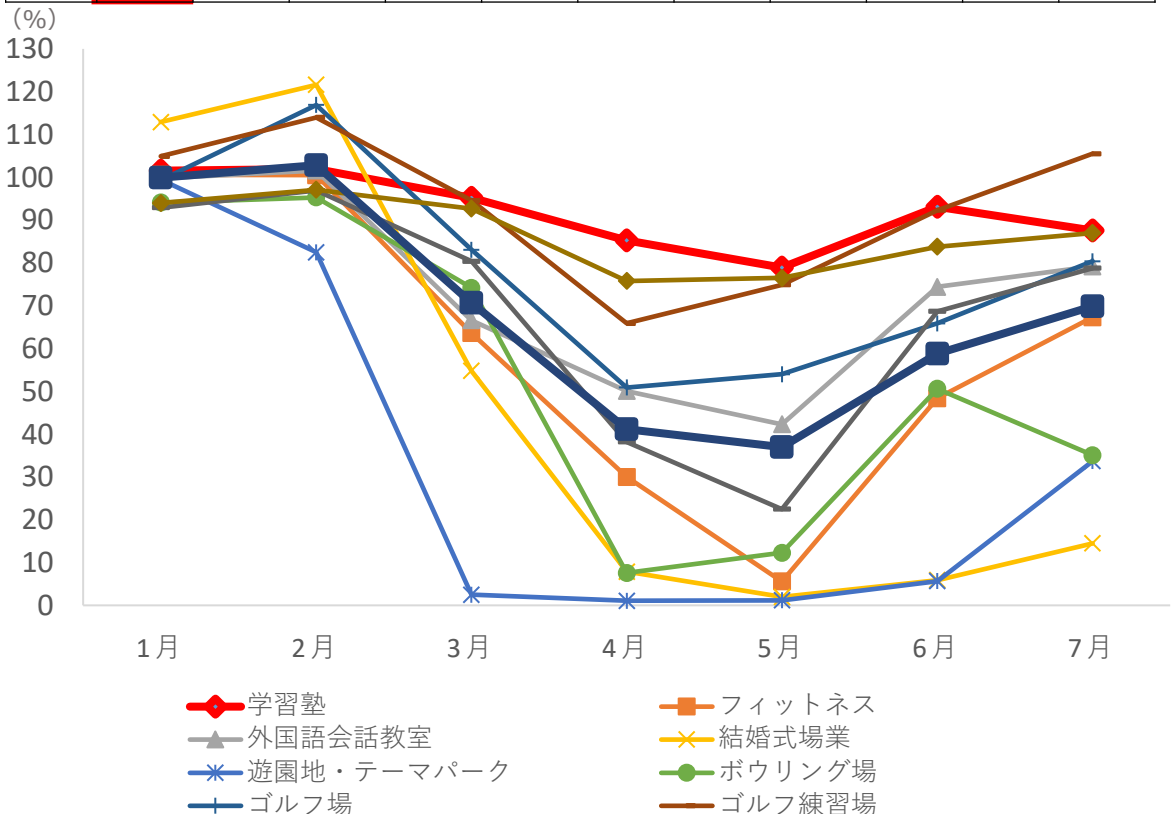
他業種との比較をはじめ、直近の売上高、受講生数、従業者数の近年の推移を見ることで業況を把握することを目的としています。

調査資料：特定サービス産業動態統計調査（経済産業省）
 調査対象：経済センサス-活動調査等を母集団とし、年間売上高（全国計）のおおむね70%をカバーするまでの売上高上位の企業

1. 対個人サービス売上高前年比

(%)

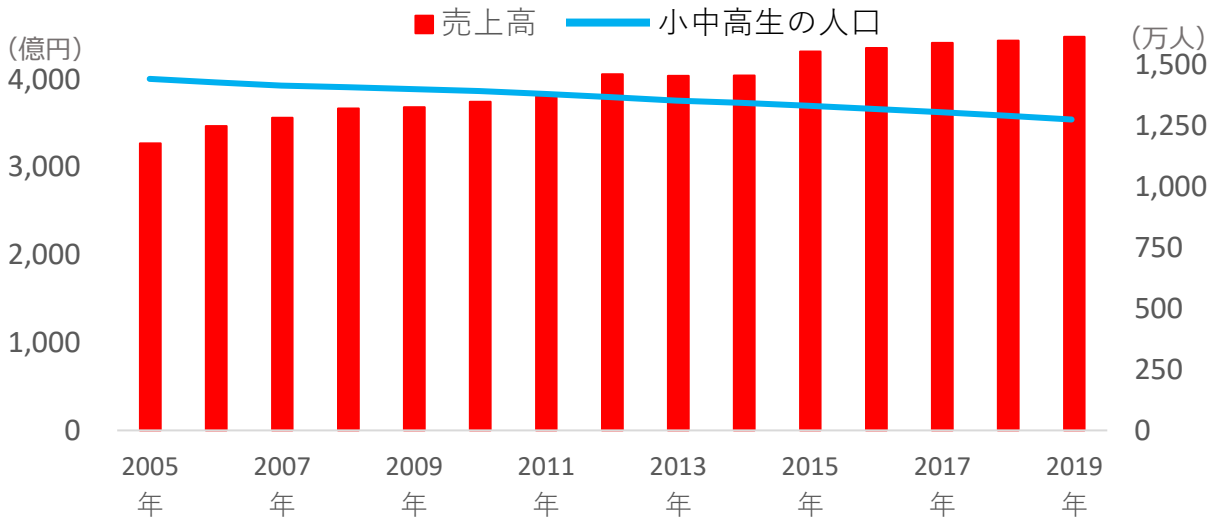
	学習塾	フィットネス	外国語 会話教室	結婚式場業	遊園地・ テーマパーク	ボウリング場	ゴルフ場	ゴルフ練習場	パチンコホール	葬儀場	平均
1月	101.6	100.6	99.8	112.9	99.5	94.1	99.3	104.9	92.9	94.0	99.9
2月	101.9	100.5	101.6	121.6	82.5	95.3	116.9	114.0	96.9	97.1	102.8
3月	95.2	63.6	66.6	54.8	2.5	74.2	83.1	94.6	80.4	92.7	70.7
4月	85.3	30.0	50.1	7.9	1.1	7.6	50.9	65.9	38.2	75.8	41.2
5月	78.9	5.6	42.3	2.0	1.2	12.3	54.0	74.9	22.5	76.5	37.0
6月	93.1	48.4	74.4	5.9	5.7	50.6	65.9	92.3	68.7	83.8	58.8
7月	87.6	67.3	79.2	14.5	33.7	65.1	80.4	105.5	78.8	87.0	69.9



☑ 対個人サービス10業種においては、緊急事態宣言が解除された6月から58.8%とやや回復傾向にあり、7月においても69.9%に増加した。

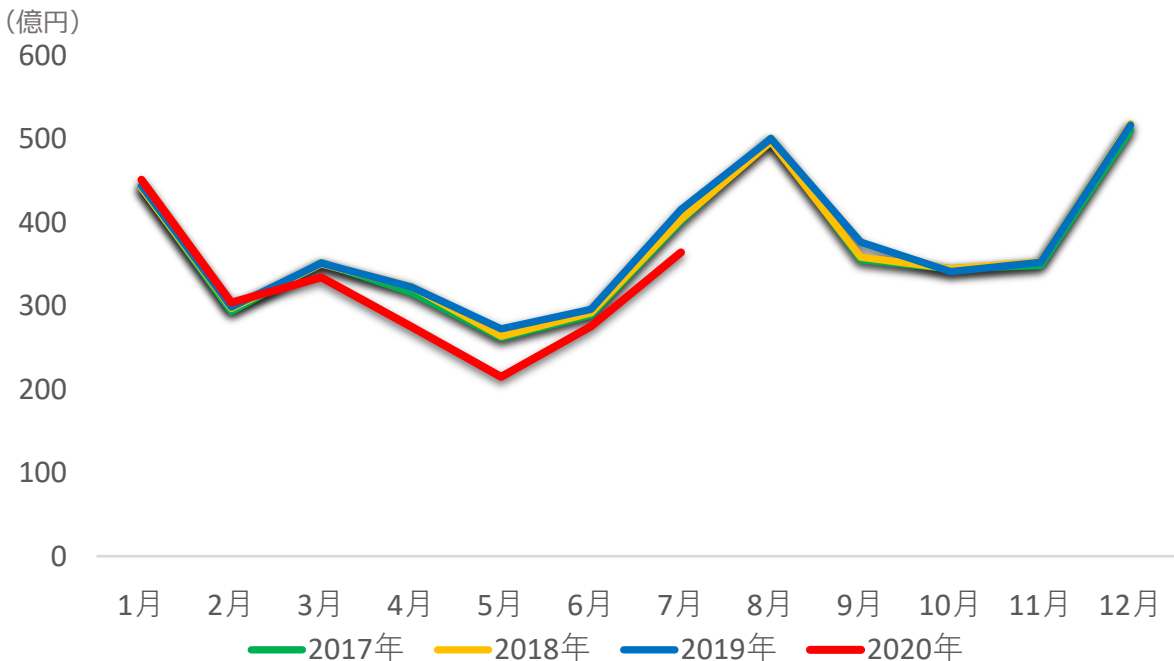
☑ 対個人サービスの中で学習塾は6月の93.1%に対し、7月は87.6%とやや減少した。学校における夏休み期間の短縮が影響したと考えられる。

2. 学習塾売上高と小中高生の人口推移



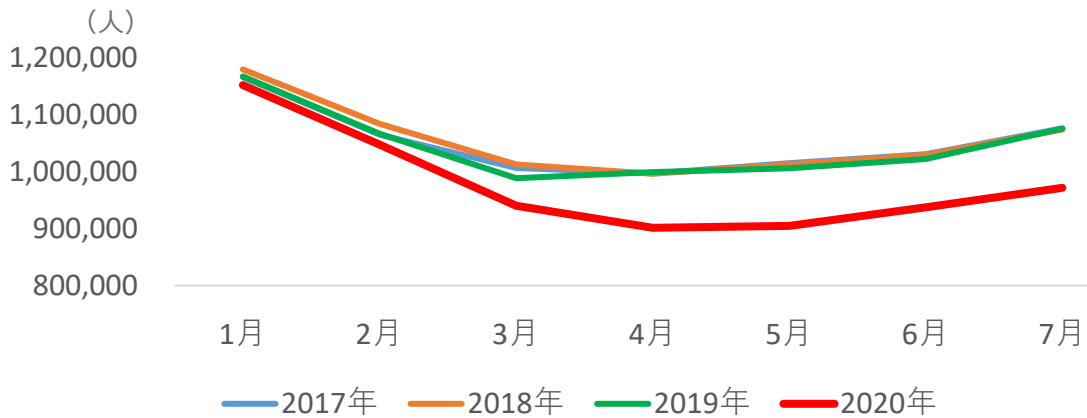
☑ 学習塾は少子化の影響を受ける業界と言われて久しいが、2005年から2019年までの間に小中高生の人口が約12%減少している（「学校基本調査」より）ことに反して、売上高は約37%増加している。これは、顧客獲得や顧客単価アップ等によるところが大きい。

3. 近年の売上高



☑ 例年は7月中旬頃から夏期講習が開始され、売上が最も見込める8月だが、今年は夏休みが概ね2週間程度と短縮されたため、夏期講習の売上高が今後の学習塾の経営に大きな影響を及ぼすと思われる。

4.近年の受講生数



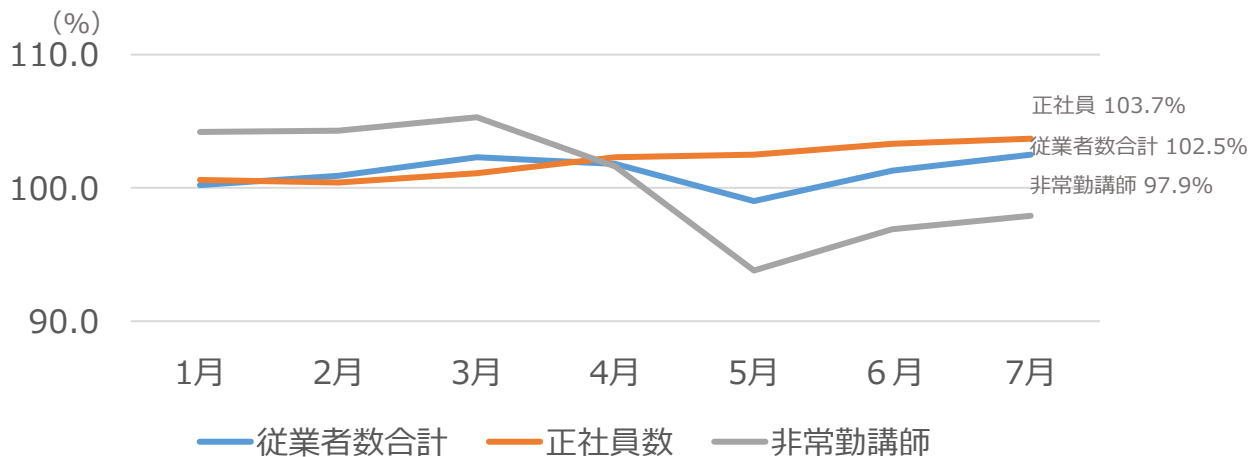
☑4月-9.8%、5月-10.1%と減少していた。緊急事態宣言解除後の6月は-8.3%とやや戻したが、7月-9.7%と学校における夏休み期間の短縮が影響したと考えられる。

5.顧客単価（2020年）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
顧客単価	39,190円	29,047円	35,543円	30,543円	23,782円	29,397円	37,481円
前年比	103.0%	103.7%	100.0%	94.6%	87.7%	101.5%	96.9%

☑緊急事態宣言が解除された6月は101.5%と前年比で増加したが、7月は96.9%と減少した。例年は7月中旬頃から開始する夏期講習だが、学校における夏休み期間の短縮により、受講講座数が減少したと考えられる。

6.従業員数等の前年比



☑従業員数は微増を続けている。学習に対する顧客のニーズは高いことや、本来、夏期講習で行うはずだった講座を9月以降に分散するといった取り組みを行っている塾もあるため、今後も前年比100%前後を推移すると思われる

【お問い合わせ先】
 公益社団法人全国学習塾協会
 〒170-0005東京都豊島区南大塚3-39-2
 TEL 03-6915-2293 MAIL info@jja.or.jp
 ホームページ <https://www.jja.or.jp>